



## 1. 外部からのご意見

忠節橋を走る北高生の自転車のマナーが非常に悪く、とても危険です。歩行者優先で徐行運転、並進ではなく一列で運転するように看板等を設置してほしい。学校で厳しく指導してほしい。



※自転車の通行は車道が原則で、歩道を通行できるのは、自転車通行可の標識がある歩道等が対象となります。ご指摘の歩道には自転車通行可の標識があるため、自転車は通行できます。



他にも、北高生の自転車マナーについて、悪質と思われるケースの苦情が寄せられています。

まるで歩行者のつもりで自転車に乗っているようだ。マナーだけでなく、交通法規にも反していることも多々あるが、マナーが悪いのは特に不愉快である。学校で厳しく指導してほしい。

歩道で超スピード。

これは歩行者に対して危険行為。

すべてが自分中心だ。後ろから来る自動車が完全によけてくれると思いついて入っている。あやうく事故になるところだった、危険極まりない。

こういったご意見に対して、学校としては並進運転等の危険行為の防止に重点を置き、県教育委員会及び岐阜北・岐阜中警察署と共に巡回指導や交通安全啓発活動に取り組んでいます。しかし、なかなか改善が見られない状況です。

## 2. 世界最大の悲劇、それは善意の人の沈黙と無関心である



この言葉は、アメリカの公民権運動の指導者である Martin Luther King Jr. のものです。キング牧師の言葉は、私たちが抱えている諸問題に対して声を上げることの重要性を教えてください。

北高生一人ひとりが、寄せられる意見・要望に対して無関心であるのではなく、積極的に改善しようとする姿勢が求められているのです。たとえば、登下校時に自分は並進運転をしない、特に歩道を通行する場合は、歩行者優先で徐行運転を心がける、ヘルメットを着用する等々、みなさん一人ひとりの模範を示す小さな行動によって大きな変化を生み出すことができます。

岐阜北高校は、学業だけでなく、社会に貢献するリーダーを育む場でもあります。みなさんが自転車のマナーを守り、他の人々の安全を考えることで、より良い社会を築く一助となることができます。どうか、キング牧師の言葉を胸に刻み、善意の行動を通じて、私たちのコミュニティをより安全で住みやすい場所にしていきましょう。

## 3. 生徒主体の「命を守るプロジェクト」

「命を守るプロジェクト」の一環として、7月8日(月)に放送部が作成してくれた交通安全啓発動画を全校生徒で視聴しました。動画は「イヤホン着用のまま自転車を運転し、商店街で歩行者と衝突事故を起こしそうになった生徒が、地元の人々の声や警察官からの注意を聞いて、安全運転を心掛けるようになる」という内容で、商店街関係者の声や岐阜中警察署の担当者による自転車利用時の注意点のインタビューもありました。

\* YouTube で限定配信中: <https://youtu.be/czkXBUPWmTM>

昨日、放送部の生徒たちが生徒指導室を訪ねて来てくれました。用件は、「この動画の効果検証を含んだ新しい交通安全啓発動画を作成したい」とのこと。こちらから効果検証や新たな動画作成を依頼したわけではないので、これは彼らの主体的な行動です。この命を守るプロジェクトは、みなさん一人ひとりの力を借りて、学校周辺の交通マナーを改善し、より安全な通学環境を作ることも目指しています。

**「あなたの行動が、未来を変える」** この言葉を胸に、主体的な交通安全啓発活動をやってみませんか？ あなたのアイデアや行動が、他の生徒や地域の人々に大きな影響を与えることができます。「私には関係ない」という沈黙・無関心ではなく、当事者意識を持つことから交通安全に関する規範意識は変わるはずです。



あなたは どう 思いますか？